

高岡鑄物で「太陽の塔」70年に6万個



「太陽の塔」の形をした
高岡鑄物 一高岡市内

竹中製作所（高岡市）は1970年、大阪万博のシンボルだった芸術家、岡本太郎さんの作の「太陽の塔」のミニチュアを受注し、高岡鑄物で製作した。竹中製作所元専務の竹中勝治さん（73）は「素晴らしい大型プロジェクトに携われた。前回に続いて、次の大阪万博もぜひ訪れたい」と話した。

竹中さんによると、「太陽の塔」

竹中製作所 カラーテレビの景品で受注

を発注したのは三菱電機で、カラーテレビの景品として依頼された。岡本さんから原型が貸与され、高さ32センチのミニチュアを6万個作った。立体作品の大量受注は高岡の業界で初めてだったといい、竹中さんは「人手が全く足りず、取引がない会社にも協力を求め、社内でも鑄物関係以外の社員も駆り出して必死に間に合わせた」と振り返った。